

# メタルトツプ オープンカーは 冬に楽しむ!

VW EOS 2.0T × PEUGEOT 307CC PREMIUM × RENAULT MEGANE GLASS ROOF CABRIOLET

ジャケットを着込んでシートヒーターをオン!  
そしてルーフを開け放てば、  
意外にも爽快なドライビング感覚。  
メタルトツプ・オープンカーは、実は冬こそ旬なのです。  
Text: 竹井あきら / Photo: 五條伴好



VW EOS×PEUGEOT 307CC Premium×RENAULT MEGANE GLASS ROOF CABRIOLET VW EOS×PEUGEOT

307CC Premium×RENAULT MEGANE GLASS ROOF CABRIOLET

オープンカーというく  
り、すなわち屋根が開  
くということに重きを置  
いたジャンルに入れる  
ことすらビミョー。イオ  
スにとっちゃ屋根が開  
くなんてほんのおまけ、  
といった風なのである。  
トップを3分割して  
収納できることでAピ  
ラーで長さをかせがな  
くてよくなったのか、メ

こたつといえどもかんじゃなくてアイス！  
冬のアイスにも通じる贅沢といえ冬オープンだ。  
じっさい真夏の炎天下よりずっと快適に  
オープンエアが楽しめるし、雨も少なく、湿度  
にベタベタすることもなくて意外と快適。しか  
もトップを上げれば快適なクーペに変身するメ  
タルトップオープンなら、ただでさえ付加価値  
が高いオープンカーにさらなる豊かさを上乗せ  
してくれそう。オープンにうってつけの小春日  
和に、VW イオス、307CC、メガーヌ・グラスル  
ーフカブリオレと、出揃ったCセグメントのメ  
タルトップオープンを連れ出してみた。

リオレというこてこのライフスタイル商品を  
投げ込んでおいてからの決め球、というのがあ  
まりに抜かりなくて恐ろしいぞVW。

なんせ速い。今回試乗したのは2リッター  
直4直噴ターボ搭載の2.0Tだが、もうGTI  
ですよ、これは。ボディ剛性も高く、トップを  
上げた状態ではもちろん、ギシッとしような  
オープンにしてもビシッとして、しかもトップが  
低く後ろに収納されるわけだから、なおさらビシ

タルトップオープンとしてはAピラーが前席頭  
上におおいがぶさってくることもなく開放感も  
高い。「いつもよりたくさん割れております〜」



VW EOS×PEUGEOT 307CC Premium×RENAULT MEGANE GLASS ROOF CABRIOLET

## VW EOS

イオスに乗って思い知らされたのは、もはや  
ソフトトップの進化型としての格納式メタルト  
ップの時代は終わり、次なるステージに入ってい  
るということだ。オープンカーはライフスタイル  
商品だ。だから剛性が劣ろうが重くならうが、  
つまりはクルマの基本性能を裏切ったとして  
も、「でもオープンエアって気持ちいいよね」で  
済まされてきた。しかしイオスは堂々と直球で  
勝負する。しかもあらかじめニュービートルカブ

シットした身のこなしになる。DSG ならではの  
ダイレクト感も喜ばしく、素直に走りを楽し  
みて、シフトパドルに自然と指が伸びる。もう

てかんじで開閉のアクションもハデで見物  
が楽しい。その上、クローズド状態でも大型の  
スライディング・グラスルーフが用意されてい

という周到な全天候体  
制。スタイリングもす  
っきりとヒップまでもた  
つかず、オープンカーで  
カッコつけたい気分を  
削ぐこともない。どこ  
までもユーザーの欲ば  
りな煩惱を全方位で  
受け止めようというホ  
スピタリティ番長である。

このお手上げなか



VW EOS×PEUGEOT 307CC Premium×RENAULT MEGANE GLASS ROOF CABRIOLET VW EOS×PEUGEOT

307CC Premium×RENAULT MEGANE GLASS ROOF CABRIOLET





理路整然としたイオスのダッシュボード。エアコンのアウトレット等に独自性が見られる以外は基本的にゴルフのものだ。試乗車は2007年式の認定中古車。走行5000kmで価格は365万円。  
車両協力= VW 世田谷Uカーセンター Tel.03-5758-6529



## VW EOS 2.0T

んじ、思い出されるのはひとつ上のクラスのBMW 3シリーズカブリオレである。ややお高めなプライスタグもまた共通の印象で、VW自らゴルフの上位モデルと名乗っていることだし、この際「3シリーズカブリオレより安い」とか大きく出てもいいかもしれない。

### PEUGEOT 307CC

307CCに乗り換えると、ホッとしました。ああ、あたくし気持ちよくなってよ(お蝶婦人風)。イオスでさんざんキャッキャ大喜びで走り回っておきながらなんなんです、やっぱりオープンカーってのはこうでなくちゃならん、優雅に美しく流すのがオープン流儀のものだ。プジョーは1934年に世界初のメタルトップオープンを作ってるだけあって、奇をてらうことなく落

ち着き払ってオープンカーの伝統を表現している。

残念なのは、私のような小柄なドライバーの前進ポジションだと雨にも濡れないくらいしっかり頭上まで伸びているフロントスクリーンに開放感を阻害されてしまうこと。この内側に長く倒れ込むAピラーは、オープンにした状態で乗り込む時、顔をぶつけそうになるのも要注意。颯爽とカッコつけて乗り込もうとしてゴツツコはととても恥ずかしいし、治安上も、せっかくのメタルトップなのできちんと閉めてから降りることをお勧めします。そうまでしてAピラーを寝かし、せっかくお顔周りから腰あたりまでは流麗なボディラインを作っているというのに、トップをしまってお尻だけでぶりした下半身デブなのも惜しい。それから右ハンドル車にはオプションでもシートヒーターがつかないと

いうのはこれからの季節痛い。どうぞ膝掛けを忘れずに。

今回試乗した3台のうちでもっとも2+2シート色が強く、後席は広さも着座姿勢もあまり進んで乗り込みたいものではない。しかしそのぶん前席はとてもゆったりしていて、フロントスクリーンの付け根が奥深いこともあり広々とした眺めがまた心地よい。そしてこの優雅な乗り心地! 近ごろのプジョーは足が固いとお嘆きの向きにもぜひお味見していただきたい猫足復活のしなやかさ。心地よい乗り心地で、大きな縫い目がクラシカルな革内装越しに眺める街は映画のよう。4段ATもまた鷹揚でいい。鷹揚にするすると加速して、いつのまにか高速でながしている、というフランス車ならではのお大尽ぶりがとってもいい。

そして先代の306カブリオレから車格がひ

とつ上がったくらい進化しているのに、お値段はほぼ据え置きなのもすばらしい。先代のオーナーとしては、悔しいようならやましいような後継車である。

### RENAULT MEGANE GLASS ROOF CABRIOLET

格納式メタルトップの第2ステージとおのいたイオスより前に、このメガーヌ・ガラスルー

フ・カブリオレはデビューしていた。いわばオープンカーのトップにガラスルーフを持ってくるという第2ステージへの開拓者である。ルノーも世界初だといっている。とかいってメルセデスのSLにはパノラミックバリオールフってあったよな、なんて意地悪は、車格が違うしもうこれはオプションだしまあ置いておきましょうよ。フロントスクリーン上部の太いハリが前席のちょうど頭上に来るので、じっさいのところ大きなガラスルーフの恩恵は後席のものではある、と



Specification	エンジン_直列4気筒DOHC 1984cc 82.5×92.8mm 10.3:1 200ps/5100~6000rpm 28.6mkg/1800~5000rpm トランスミッション_6段AT
	ボディ_4410×1790×1435mm W/B 2575mm 1590kg タイヤ_235/45R17 新車価格_438万円

**i** ユーズドカー・マーケット情報\_昨年11月に発売されたイオス。インポーターによればこの1年間で1000台が上陸したというから、今回の3台のうちでは間違いなく年間ベストセラーだろう。ご想像通りその大半は今回取り上げた2.0Tで、新車価格が60万円高い3.2ℓV6は希少。両車の主な違いは50ps / 4.0mkgとバイキセノンヘッドランプとパークディスタンスコントロール、パワーシートの有無など。中古車相場は今のところ新車価格の2割安あたりが下限となっており、諸費用とオプション代を合わせた総支払額で100万円の差が付くかどうか、といったところだ。



## PEUGEOT 307CC PREMIUM

かいう意地悪もまあ置いておきましょうよ。

カードキーを差しスタートボタンを押しての始動、飛行機のスロットルレバーのようなサイドブレーキを下げた「発進!」といった言ってしまうのはハッチバックのメガーヌと同様。全高が低められたのにあわせて24mm下げられたシートでは、外寸以上にコンパクトに感じる。走り出せば専用短く設定されたホイールベースとクリーンなハンドリングも相まって快活で小気味よい。小径のステアリングホイールもしゃっきりして気分だし、ショートホイール

ベースとやや太すぎの17インチタイヤ故に実際以上に固く感じてしまうが、じつは充分なストロークでしなやかさのある足もいい。高速ではとくにいい。搭載される2リッター直4はぜ



試乗車はすでに輸入終了となった「プレミアム」(広報車両)。現在カタログに載っている「2.0」とは、革装ダッシュボードなどインテリアに差はあるが、基本的なメカニズムは同一だ。深みのあるこのボディカラーは「バビロンレッド」。

**Specification** エンジン\_直列4気筒DOHC 1997cc 85.0×88.0mm 11.0:1 140ps/6000rpm 20.4mkg/4000rpm トランスミッション\_4段AT  
ボディ\_4380×1760×1435mm W/B 2610mm 1490kg タイヤ\_205/50R16 新車価格\_428万円

**i** 今回の3台のなかでは最も登場年次の古い307CC。日本導入は2003年10月のことだった。以降今年の9月末までで2800台あまりが販売されている。よって比較的豊富な流通量があることに加え、現在売られている新車こそ右ハンドル+ATのみだが、過去には左ハンドルやMT車も輸入されていたから、じっくりと好みの仕様を探したい。また、現在買うことのできる新車にはシートヒーターが備わらないが、かつて輸入されていた左ハンドル車には装着されていたから、その面でも積極的に中古車を選ぶ価値はある。価格はおおむね200万円台の半ばがスタートライン。

## RENAULT MEGANE GLASS ROOF CABRIOLET

んぜんハイパワーではないけれど、大きなガラスルーフ同様、走りは明るく爽快だ。

とにかくつねに開放し、解放してくれようとするその心意気に感謝。ハッチバックのメガーヌ比で全高を55mm低め、ヒップまですっきりとスレンダーなプロポーションも、センスはいいんだけどカッコつけすぎでないかんじ。等身大の気分フィットする塩梅の良さがある。

高級や高性能が豊かさかというとなんかそうではない。それはメガーヌ・ガラスルーフカブリオレで走ればすぐわかるし、今回の3台がそ

れぞれまったくちがった豊かさへのアプローチを見せていることでも明らかだ。つまるところとにかくオープンな豊かな気分を約束してくれる。せっかくの冬だもの、さあ屋根を開けよう。



3台のなかでは最もすっきりとしたリアビューを持つメガーヌ。こちらも試乗車は広報車両で、ボディカラーは「プラチナムシルバー」。インテリアはトープブラウンで、他にブラックとレッドの設定がある。

**Specification** エンジン\_直列4気筒DOHC 1998cc 82.7×93.0mm 9.8:1 133ps/5500rpm 19.5mkg/3750rpm トランスミッション\_4段AT(マニュアルモード付き)  
ボディ\_4380×1775×1405mm W/B 2520mm 1530kg タイヤ\_205/50R17 新車価格\_395万円

**i** 2005年の初頭に日本にやってきたメガーヌ・ガラスルーフカブリオレ。今年9月までの販売台数は約500台となっており、今回の3台中で最も少ない。よって中古車流通も少ない。標準的な中古車相場は200万円台半ばあたり。今年9月にマイナーチェンジを受けており、フロントまわりのデザインを一新。従来は黒い樹脂部分があったバンパーもフルカラーへと変更された。さらにガラスルーフの反射率アップ、ステアリングシャフトの改良のほか、ATのギア比も見直されるなど実質的な改良も多岐にわたる。試乗車はその最新型である。

# 徹底検証

ボディの形態としてはまだ歴史の浅いメタルトップ・オープンカーの 카테고리。それだけに各車のパッケージングにはけっこうな差がある。ここでは、ユーティリティを中心に各車の細部を見る。

VW  
EOS 2.0T



他の2台に比べて明らかにウインドシールドが立っており、前席乗員の頭上への張り出しが少ないイオス。グラストップを開けたときの開放感が一番だ。唯一チルト/スライディングルーフも備える。前後方向の余裕やシートバックの角度など、後席の快適性も群を抜く。総じてメタルトップ格納機能の代償が最も少ないといえる。ただし肩の位置で図った後席の幅は最小で99cm。後席用パワーウインドースイッチもイオスだけ備わらない。荷室容量は380/205ℓ。

PEUGEOT  
307CC PREMIUM



このクラスにメタルトップ・オープン概念を持ち込んだ307CC。先駆者としての功績は大きい、いかんせんスペース効率の点では劣勢が顕著。ルーフ収納スペースの制約によりウインドシールドは後方に伸び、オープンにしても開放感に欠けるし、後席のシートバックは不自然に立っており、絶対的なスペースも大人には辛い。荷室容量も350/204ℓと最小だ。もっとも、そんなことがかり気にして選ぶカテゴリーではないといえはばない。なお、乗車定員は3台とも4名。

RENAULT  
MEGANE GLASS ROOF CABRIOLET



シャープなサイドビューにより、後席頭上のスペースが最も少ない印象を与えるメガーヌ。しかし実際には座面が低くセットされており、3車の中で唯一髪が触れないで済む(サンプル身長165cm)。その後席は前後方向スペースこそ307CCと同程度で余裕は少ないが、肩の高さで測った横幅は116cmと3車中最大だった。荷室容量も490/190ℓとなっており、ルーフを閉じた際の広さで他を圧倒する。なお、前席には3車とも高さ調節機構が備わる。

	VW EOS 2.0T	PEUGEOT 307CC PREMIUM	RENAULT MEGANE GLASS ROOF CABRIOLET
全長	4410mm	4380mm	4380mm
全幅	1790mm	1760mm	1775mm
全高	1435mm	1435mm	1405mm
ホイールベース	2575mm	2610mm	2520mm
車重	1590kg	1490kg	1530kg
エンジン	直 4DOHC	直 4DOHC	直 4DOHC
排気量	1984cc	1997cc	1998cc
トランスミッション	6 段 DSG	4 段 AT	4 段 AT
タイヤサイズ	235 / 45R17	205 / 50R16	205 / 50R17
新車価格	438 万円	428 万円	395 万円